

2021年8月6日

各 位

会社名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号8267 東証第一部)
問合せ先 財務担当責任者 宮崎 剛
(電話番号 043-212-6042)

公募ハイブリッド社債（劣後特約付社債）の発行及び 第3回・第4回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付） の期限前償還に関するお知らせ

イオン株式会社（以下、当社）は、2016年9月21日に発行した第3回・第4回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）（以下、既存ハイブリッド社債）の期限前償還を2021年9月21日に行うとともに、その償還資金に充当するため下記の通り公募形式によるハイブリッド社債（以下、本社債）を発行することとしましたのでお知らせします。

1. 本社債発行の目的・背景

イオングループは、“絶えず革新し続ける企業集団”として、2021～2025年度中期経営計画において、成長のための事業基盤の確立と経営効率改善を基本方針とし、グループ共通戦略として「デジタルシフトの加速と進化」、「サプライチェーン発想での独自価値の創造」、「新たな時代に対応したヘルス&ウェルネスの進化」、「イオン生活圏の創造」、「アジアシフトの更なる加速」の5つの変革を実現することで、2030年にありたい姿として掲げる「イオンの地域での成長」が「地域の豊かさ」に結び付き、循環型かつ持続可能な経営を目指しています。

また、当社はこれまで2006年9月29日に本邦事業法人初の第1回・第2回私募ハイブリッド社債、2016年9月21日に第3回・第4回公募ハイブリッド社債、2019年12月12日に第5回・第6回公募ハイブリッド社債、2020年12月2日に第7回公募ハイブリッド社債を発行し、ハイブリッド社債マーケットの拡大に貢献するとともに、継続的に財務戦略の柔軟性を考慮した資金調達を実施してまいりました。

今般、2016年9月21日に発行した既存ハイブリッド社債が2021年9月21日に初回任意償還日を迎えるにあたり、調達年限の長期化を図りながら、さらなる財務健全性と資本効率向上の両立を目的とし、既存ハイブリッド社債を全額期限前償還するとともに、本社債を発行することといたしました。今後も引き続き、財務バランスの健全化を通じて循環型かつ持続可能な経営を目指してまいります。

2. 本社債の特徴

本社債は、資本と負債の中間的な性質を持ち、負債であることから株式の希薄化は発生しない一方、利息の任意繰延、超長期の償還期限、清算手続き及び倒産手続きにおける劣後性等、資本に類似した性質及び特徴を有しております。

本社債は格付機関（株式会社格付投資情報センター、及びS&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社）より資金調達額の50%に対して資本性の認定を受けることを見込んでおります。本社債の概略につきましては、本日付で関東財務局長に提出した訂正発行登録書をご参照下さい。

ご注意：この文章は、当社の利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

3. 本社債発行の今後のスケジュール

本社債については、みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社、SMB C日興証券株式会社、及び岡三証券株式会社を共同主幹事として起用し、需要状況や市場環境等を総合的に勘案した上で、発行金額、利率等の条件を決定する予定であり、諸条件が決定次第すみやかにお知らせいたします。

(参考) 既存ハイブリッド社債の概要

名称	第3回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	第4回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）
発行総額	248億円	217億円
発行日	2016年9月21日	
償還期限	2046年9月21日	
期限前償還日	2021年9月21日 (初回任意償還日)	
当初利率※	2.17%	6ヵ月ユーロ円Libor+2.05%
期限前償還総額	248億円	217億円
期限前償還金額	各社債の金額100円につき金100円	

※2026年9月21日の翌日以降に金利のステップアップ1.00%が発生

以上

ご注意：この文章は、当社の利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。